

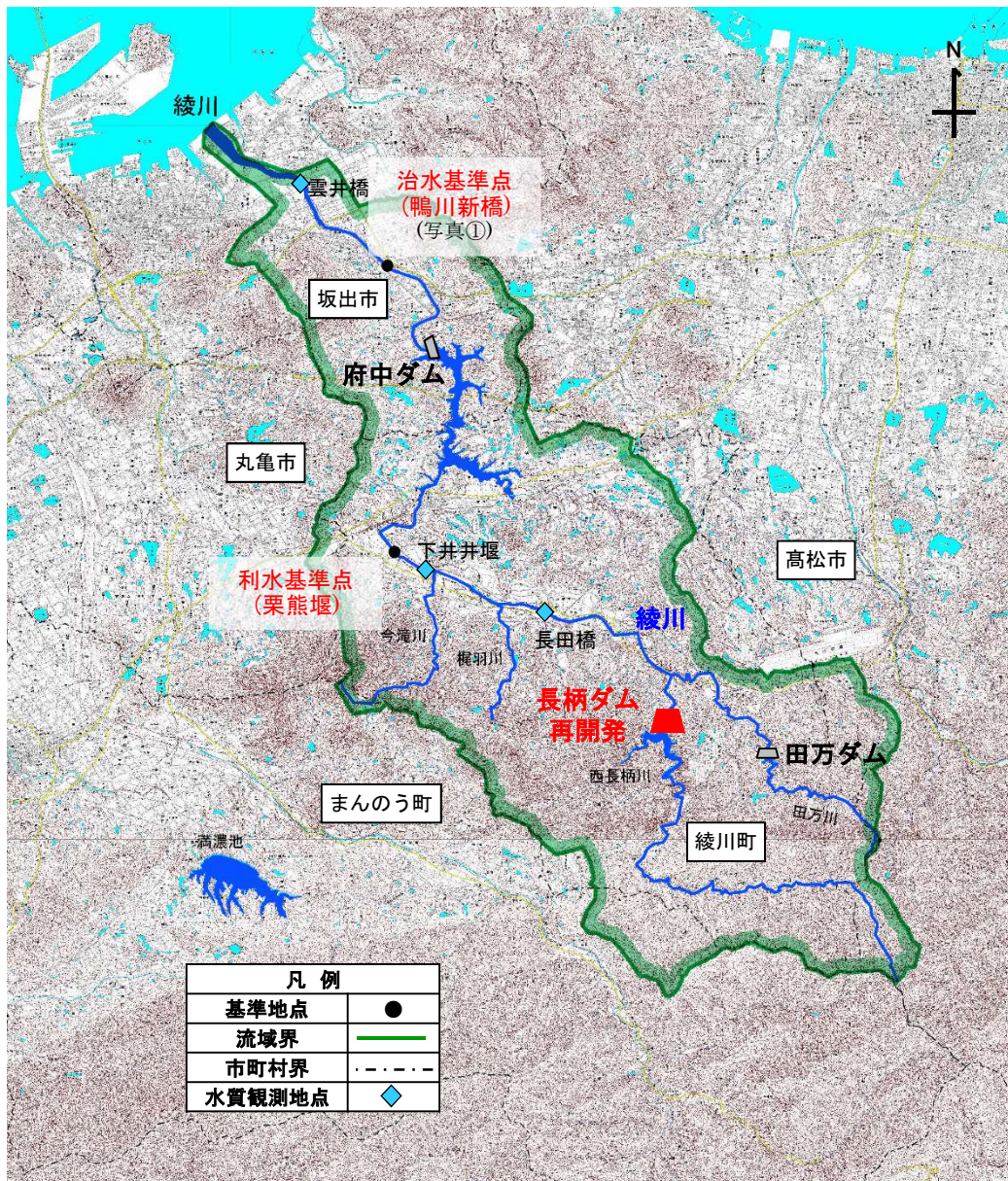
再評価対象事業

治水ダム建設事業
長柄ダム再開発
(旧:綾川ダム群連携)

【現地調査資料】

香川県 土木部 河川砂防課

流域の概要



出典：国土地理院発行5万分1地形図を加工して使用

【綾川水系】

流路延長：約38.0km

流域面積：約138km²



写真① 下流(鴨川新橋付近)

過去の洪水被害

主な洪水被害

洪水発生期間	発生要因	建物被害（棟）				
		床下	床上	半壊	全壊	計
昭和47年9月6日～9月19日	台風20号	14	—	—	—	14
昭和51年9月7日～14日	台風17号	5	—	—	—	5
昭和54年9月24日～10月1日	台風16号	273	7	3	—	283
昭和62年10月16日～19日	台風19号	262	22	—	—	284
平成2年9月11日～20日	台風19号	12	—	—	—	12
平成16年10月18日～22日	台風23号	278	367	5	—	650
平成23年8月30日～9月7日	台風12号	37	1	0	—	38

出典：水害統計



過去の渇水被害

主な渇水被害

- ・平成6年の大渇水では、香川用水が128日間にわたり取水制限となり、農作物に多大な被害が発生。
- ・平成6年以外にも、香川用水の取水制限が度々実施され、経済活動と都市住民の生活に大きな打撃。

平成6年	取水制限	合計128日間
平成20年	取水制限	合計124日間
平成21年	取水制限	合計137日間

平成6年渇水状況



長柄ダム再開発事業の概要

長柄ダム再開発事業の目的

1)洪水調節

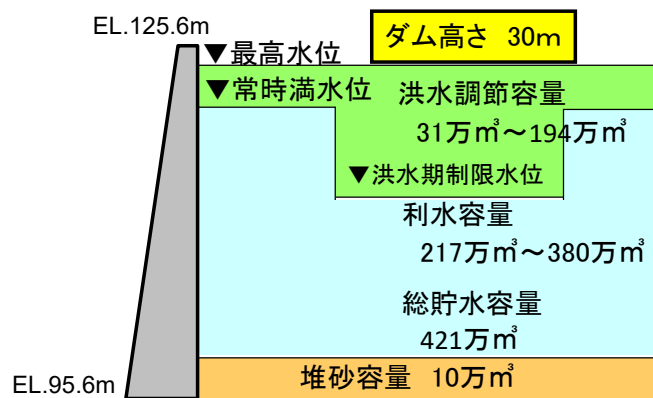
洪水時にダムに流れこむ洪水の一部を貯めて、下流の河川流量を低減させ洪水被害を軽減する。

2)流水の正常な機能の維持

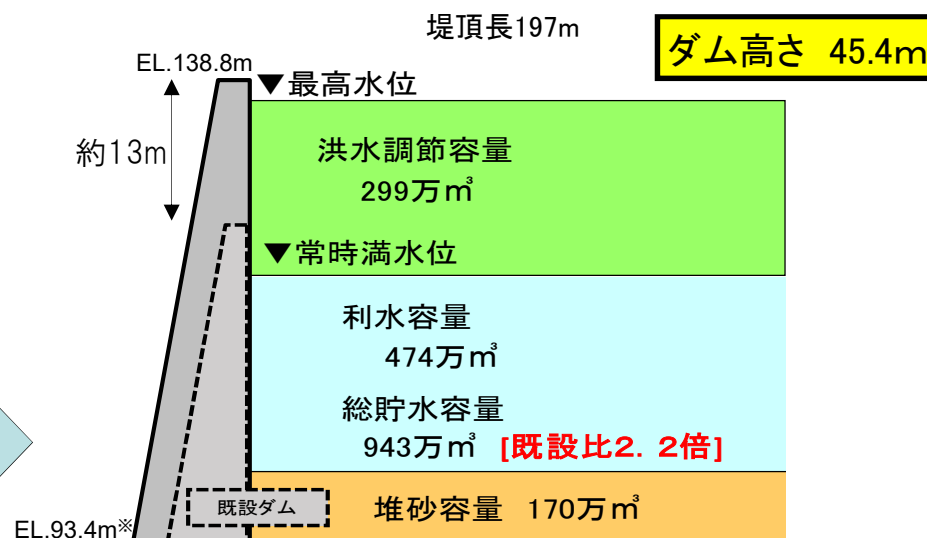
川の水の流れを正常に保ち、既得の農業用水や生活用水の安定した取水を確保するとともに、魚類の生息環境など河川のもつ環境を守る。

貯水容量配分図

現況



再開発後(現計画)



※基礎位置を現行基準で見直し
数値はすべて約

※ダム諸元等は、今後詳細な設計等により、変更になる場合がある。

長柄ダム再開発事業の経緯

平成7年	4月	綾川ダム群連携事業 建設事業着手
平成13年	1月	綾川水系河川整備基本方針策定
平成13年	6月	綾川水系河川整備計画策定 ※長柄ダム嵩上げと導水トンネル位置付け
平成16年	10月	台風23号により綾川流域に甚大な洪水被害が発生
平成22年	9月	国土交通大臣よりダム事業の検証に係る検討要請
平成22年 ～27年		香川県ダム検証に係る検討委員会において、6回審議
平成27年	8月	国土交通大臣へ「継続して事業を進める」とした県の対応方針を報告
平成28年	7月	国土交通省として「補助金交付を継続」との対応方針を決定
平成30年	2月	綾川水系河川整備計画変更 ※導水トンネル計画廃止
平成31年	4月	事業名称を「長柄ダム再開発事業」に変更

長柄ダム再開発事業の進捗状況

進捗概要図

- 凡 例
- 供用済区間
 - 着手済区間
 - 未着手区間
 - ダム本体

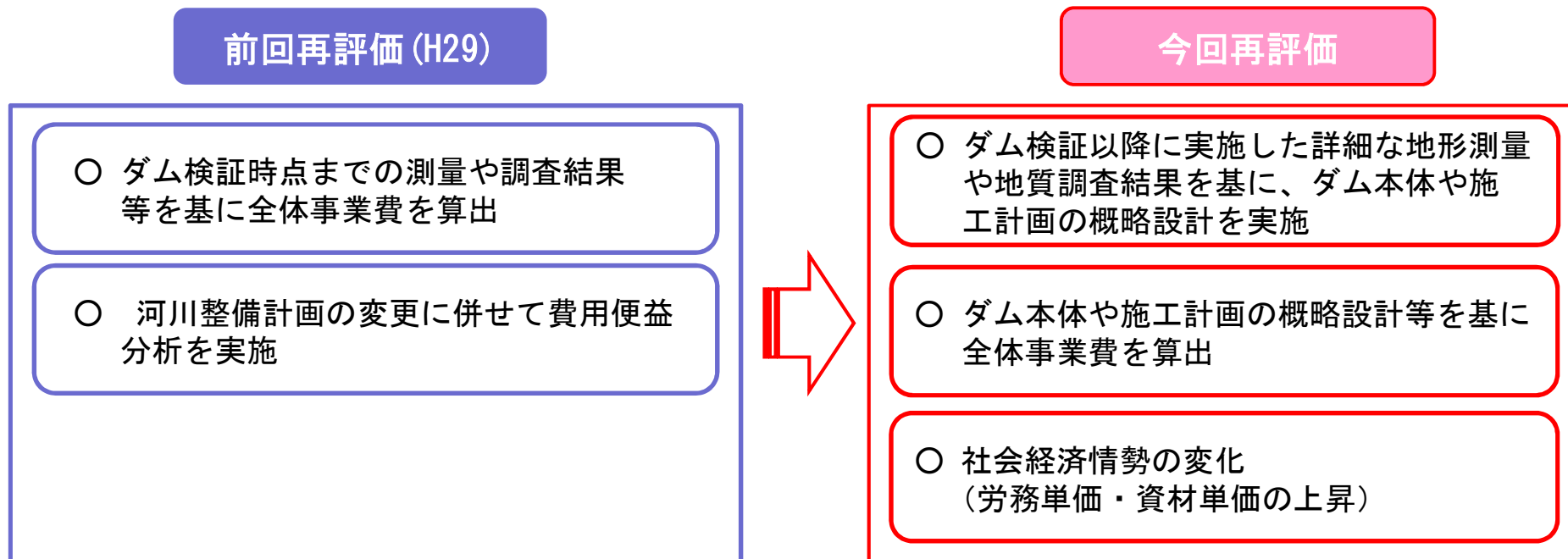


進捗状況

	全体	前回再評価時(H29)		今回		増減	備考
		H28年度末まで	進捗率	R2年度末まで	進捗率		
事業費	22,100百万円 (現在予定額)	1,323百万円	約6%	2,136百万円	約10%	+813百万円	事業費ベース

事業費の見直し 【150億円 → 221億円】
事業期間の見直し 【令和8年度完了 → 令和14年度完了】

◆事業費変更の背景



◆事業費の増

掘削工における土工数量の増とそれに伴う堤体コンクリート数量の増、資材や労務単価の上昇等により、事業費が71億円増加

◆事業期間の延伸

放流や貯水の影響を受けない安全なダム本体・付替道路等の施工計画を検討したことや、地質調査・解析等の実施が必要になったことにより、事業完了が令和14年度まで延伸